



# 学校だより 神橋

平成29年5月29日  
横浜市立神橋小学校

6月号

「明日につながる今日」に

副校長 平野 好子

先日、私は、自分の不注意から階段をふみはずし、左眉上を強打してしまいました。目をぶつけなかったのは、不幸中の幸いでしたが、痛みはかなりひどく、みるみるうちに左眉骨上が腫れ上がり、大きなたんこぶができました。翌日には、眉下、目の上が赤くなり、恐れていた通りに、目の周りは赤黒くパンダの目のように縁取られてしまいました。鏡に映った自分の顔は、パンチをくらったボクサーのようでした。悲しく、情けなく、恥ずかしく、人に会いたくないと思いました。人は、私の顔を見て、なんと思うだろう。こう思う気持ちは、小さい頃、前髪を切りすぎて、短い髪を引っ張ってみても伸びるはずもないのに、何度も引っ張りながら「みんなに笑われるんじゃないか」と不安に思い、学校に行きたくないと思った気持ちに似ていました。眉上のぶつけた部分の痛みは残っていたものの、体は元気でしたので、沈んだ気持ちを奮い立たせ、学校に行きました。日が経つにつれ、あざは重力に従って、目の下の方へと移動し、目の下が真っ青になっていきました。

皆さんに余計な心配をかけさせないためにも、また、落ち込んだ気分を前に向かせるためにも、会う方々に「どうしたの」と言われる前に、自分から目の上をぶつけた件を暴露して、毎日を普通に過ごすようにしていました。この間に会った方々からは、「大丈夫ですか。」「気を付けてくださいね。」等の温かい言葉をたくさんいただきました。自分の不甲斐無さに嫌気がさしていて、下ばかり向いていた私でしたが、気持ちを切り替えて、顔を上げてがんばらなくてはという気持ちになりました。本当に、ありがとうございました。

子どもたちも、日々の中では楽しいことばかりでなく、友達や他者とのかかわりの中で、また自分自身の中で、心配なことがあると、立ち止まり、前に進めなくなってしまうことがあると思います。心配なことがあると、学校も楽しいものではなくなってしまいます。

立ち止まることは悪いことではありません。何かがあって、立ち止まらざるを得ないことがあります。また、自ら、立ち止まることもあるでしょう。立ち止まって、深呼吸したり、次に進むために足踏みをしたり、一步を踏み出すために勇気を振り絞ったり…難しいときは、向きを少し変えたりしてみることは大事なことだと思います。向きを変えることで見える景色も変わります。立ち止まることで、素通りしていた人やものに出会い、気持ちが切り換えられるかもしれません。不安や悩みを誰かに話すことで、気分がすっきりしたり、何に困っているのかがはっきりしたりして解決の手がかりになることもあります。

誰もが安心して豊かで楽しい毎日を送りたいと願っています。その日にあったことが心配で、明日の学校がすごく不安になってしまうこともあるかと思っています。私たちは、子どもたちの発信にいち早く気づき、寄り添い、共に考えていきたいと思っています。

困ったときに、どう気持ちを切り替え、乗り越え、進んでいくかを共に考え、進み方を見守っていきたいと考えています。そして、その子への周りの人のかかわり方についてももしっかり考えていきたいと思っています。今日は、明日につながります。「明日につながる今日」にするよう、指導してまいります。